

「公立大学法人横浜市立大学 Tele-ICU 事業計画及び同システム要求仕様策定支援業務委託」
公募型プロポーザル特定結果について

横浜市立大学研究基盤課では、「公立大学法人横浜市立大学 Tele-ICU 事業計画及び同システム要求仕様策定支援業務委託」について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定しました。

平成 31 年 3 月 20 日の「企画提案書」締切までに 2 社の応募があり、平成 31 年 3 月 27 日に「公立大学法人横浜市立大学 Tele-ICU 事業計画及び同システム要求仕様策定支援業務委託に係る評価委員会（以下、「評価委員会」という）」を開催し、提案者によるプレゼンテーションを実施しました。

評価委員会での評価の結果を受け、横浜市立大学第四契約審査会（平成 31 年 4 月 11 日）にて、受託候補者として特定しました。

1 契約の相手方

有限責任監査法人トーマツ

2 評価結果

| 提案者 | 評価点数 |
|--------------|-----------|
| 有限責任監査法人トーマツ | 396 / 650 |
| A 社 | 392 / 650 |

※評価委員は、5 名（全員出席）

評価委員会事務局：研究基盤課

3 評価基準

| 評価項目 | 評価配点 | 評価事項 |
|---|------|---|
| 1 集中医療分野、またその現場における課題や解決について | 25 | (1)都市部における課題等の認識に説得力があるか (2)(1) の課題に対応するアプローチが明確かつ論理的か (3) 遠隔診療そのものが抱える課題等の認識に説得力があるか (4) 本システムで実装すべき機能が明確かつ論理的か |
| 2 今回のプロジェクトの進捗管理のあるべき姿について | 25 | (1) 過去の業務実績の有効性が説得力をもって説明されているか (2) 具体的タスクが詳細かつ丁寧に説明されているか (3) 協業体制・役割分担を含めたスケジュールが詳細かつ丁寧に説明されているか |
| 3 ベンダニュートラルを実現する Tele-ICU システムの要求仕様策定の進め方について | 25 | (1) 業務上発生する困難が十分に想定され講じるべきアプローチが練られているか (2) 技術的要件を満たしながら費用を抑制するための方向性/コンセプトが明確か (3) オープンなシステム基盤を構築する上で望ましい協業体制/役割分担が示されているか (4) 関係団体からの支援、連携のあるべき姿が示されているか (5) ユーザの負担軽減のために望ましいシステム運用の在り方が示されているか |

| | | |
|---|----|--|
| 4 今回のフェーズにおける推進体制について | 20 | (1) 第一次フェーズの運営方針が適切に示されているか (2) 協力会社等を含めた実施体制が具体的でその体制の有効性が示されているか (3) 有資格者等の貢献、例示した項目に対して期待できる効果がアピールされているか |
| 5 Tele-ICU の事業化検討について | 25 | (1) 更新による経営上の課題解決策 (2) 普及/事業化へ向けた法制度面における改善点およびアプローチ (3) ビジネスモデルおよび運用にあたっての課題とその解決方法が明確か |
| 6 本学における Tele-ICU 整備後のさらなる研究開発や普及へ向けた取り組みについて | 10 | (1) データ利活用等、運用に資する要件を盛り込むための工夫が論理的に示されているか (2) 各界が連携して議論を行うにあたり望ましい体制と運営方法が示されているか |

※配点は、1 評価委員あたり 130 点。130 点×5 名=650 点 (満点)